

第32回定期大阪地方本部大会 榊野執行委員長挨拶(要旨)

はじめに

新型コロナウイルスによる災禍も2003年5月8日以降、感染症法上の分類も5類へ引き下げられたことにより、鉄道のご利用はコロナ禍前の約9割まで回復し、2022年度決算は3期ぶりに黒字転換を果たし、8月1日公表された第1四半期決算では、運輸収入もコロナ禍前の88.5%まで回復するなど、営業利益も大幅に回復し黒字に転換することが出来た。人件費や動力費などコストがかさむ中で、相当なコスト削減の成果であることは間違いない。この成果は、3年半の間、一時休業やグループ内外への出向、度重なる賞与の減額を受け入れ、会社の存続のために真面目に現場で頑張った組合員の成果であることは言うまでもない。ようやく、この3年半を取り返す反転攻勢への環境は整った。まずは、JR西労組運動を力強く進め「明るい未来を切り拓く」べく集中した議論をお願い申し上げます。

■更なる職場からの安全確立について

福知山線列車事故から18年が経過した。すべての組合員が安全最優先の重要性を理解し職場から取り組みを進めているが、不断に実行するのは決して容易ではない。1年間で2名の協力社員の尊い命を失った。また、一步間違えば重大な事故につながる事象が発生するなど撲滅には至っていない。「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」には、過剰な権威勾配のない心理的安全性についても盛り込まれたが、計画の達成は、私たちの取り組みにかかっていることは言うまでもない。JR西労組の強みは、すべての職場に業務に精通した組合員がいることである。今一度、確認ですが「アサーション」を浸透させ「安全お守り手帳」を活用し、更なる職場からの安全の取り組みを要請する。

事故後入社の組合員も組織の6割を超え、事故の事実や悲惨さ・反省と教訓など、事故を知らない組合員へ「ユニオンスクール」等で語り継ぎ取り組みも地方本部として継続していく。

■総合労働協約改訂交渉・一時金・2024春季生活闘争について

労働協約改訂交渉については、昨年、「小3の壁」を打ち破り「小学校卒業」まで延長するなど改善を図ることが出来た。今交渉においても中央本部は、コロナ禍によりJR産業の将来不安や離職者の歯止めをかけるため、将来に亘り安心して働き続けることのできる環境整備に向け議論していく。

「一時金」については、2023春闘の最終回答時に上村中央執行委員長から然るべきときに要求すると申し上げたが、3月の「うめきた地下駅」の開業を皮切りに、大きなプロジェクトの効果に加えて、これからの収入動向が重要になるのは間違いない。是非、職場の声を本部に届けていただきたい。

次に、2024春闘について、2023春闘は、離職防止と採用競争力の強化、継続的な賃上げの方針を掲げ未来づくり春闘として交渉に臨んだ結果、大きな成果となった。会社も新しい中期経営計画の中で、「人的資本経営」を推進していくことを宣言している。人的資本経営とは、社員の成長、働きがいや多様性は、企業の成長の原動力となるものであり、「人財への投資」は必要不可欠なものという考えで、「人財への投資」の重要性は、世の中の常識となっており労使共通の認識だと考えている。2024春闘も労使共通の認識のもと、賃上げの継続性が求められる大変重要な位置づけになっている。物価の上昇が止まらず、賃上げが物価の上昇に追いついていないことや、離職に歯止めをかけ、優秀な人材を確保するために、「人財への投資」を積極的に求めていく2024春闘を地方本部として皆さんと作り上げていきたい。

■業務課題について

経営強靱化の取り組みとして、本社・地方機関の組織改正をはじめ、それぞれの系統においても様々な業務改善施策の提案を受け、間接・現場で働く組合員が不安にならないよう労使協議を行ってきた。特に組合員からの声で多く聞かれた工務触防の見直しについては、社員アンケートにおいても、守りにくいルールとしてあげられており、ルールの過剰感や複雑さ

が指摘されてきた。JR西労組としても会社に課題提起し見直しに向けて動き出したのは言うまでもない。2023年12月の本実施に向け、積極的に参画し、不安が残ることのないよう取り組んでいただきたい。

また、駅を取り巻く環境について、中央本部大会で多くの発言があったが、駅の大管理駅について、あくまでも効率化施策だけではなく、チームで線区を守るという概念で実施するものと聞いている。他にも、現場の組合員からは、商品数が多く複雑で組合員自身が案内に苦慮し、お客様にご迷惑をおかけすることが多くあると報告を受けており、簡素化に向けて労使で議論していくこととする。多くの業務課題が2023年度に提示されているが、引き続き、安心して働くことができる職場環境の構築に向け現場から問題提起をお願いしたい。

■組織の充実・強化について

JR西労組は、2月の京都駅ビル大階段駆け上がり大会を皮切りに、4年ぶりにレク活動も再開し、5月には大阪地方本部準備の下、本部ソフトボール大会を開催することが出来た。参加した組合員からも笑顔が絶えることなく交流を深める機会になった。

今年度からは、新規採用者に加えて社会人採用も始まり、カムバック制度で一度退社した方が復帰されるケースも予定されている。4月以降の社会人採用者については、年齢構成や社会人経験も人それぞれの中、今日まで大阪地方本部に配属された全員がJR西労組に加入いただいた。今後も、社会人採用、カムバック制度で入社される方々に対しても、私たちの仲間を迎えていただくようご協力をお願いする。今一度、JR西労組運動の役割・必要性、各種共済のスケールメリットを広く発信しながら、組織の充実・強化・各種共済の加入促進に向け、皆さんと連携し取り組みを進めていく。

こくみん共済coopへの契約移転では、様々な不手際もあり皆さんにはご迷惑をおかけした。現在、事務手続きの不備者への対応を行っているところであり、全員の手続きが完了できるよう分会役員皆さんの協力を要請する。

取り巻く環境が大きく変わっても労働組合の役割・目的は何ら変わるものではない。組合員に寄り添い、対話を大切にきめ細やかな対応でJR西労組の存在感を発揮し、大阪地方本部が先頭に立ちJR西労組運動を進めていく。

■政策・政治課題について

本年4月に実施された統一地方選挙においては、西日本各地からJR西労組の組織内議員として6名が立候補し、5名の当選を果たすことが出来た。この間、ご支援いただいたことに感謝を申し上げる。

JR西労組の政策や組織などに係る課題の解決に向けて、政治活動の取り組みは極めて重要であり、無関心であっても決して無関係ではない。コロナ禍では、JR連合国会議員懇・21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属議員を通じ、JR産業の窮状を国会の場で訴えていただくとともに、関係大臣に対しても直接要請書を提出するなど要請行動を実施してきた。その結果、様々な息の長い支援策が実施された。また、地方ローカル線などの地域共通のリ・デザインについても、JR連合の働きかけにより、4月に、地域交通法の改正法案が可決・成立し、10月より施行する予定である。JR西日本が線区別の経営状況を開示した輸送密度2千人/日未満の路線では、大阪地方本部管内は関西線が該当する。この地域交通のリ・デザインの意味合いについて正しく理解するとともに、関係する分会と連携しながら組合員の不安につながらないよう取り組みをすすめていく。

今後、衆議院の解散総選挙があると言われるが、いつ、行われても対応できるよう関係議員・連合と連携を図りながら、組合員とその家族に対して、より一層の政治への理解を深める取り組みをすすめ、「交通政策をすすめる会」への加入拡大に努めていただくことを要請する。

以上、本定期大会に課せられた主要課題について申し上げた。後ほど提起する方針について活発な討議をいただくことをお願いし、執行部を代表してのご挨拶とします。



2023年度 大阪地方本部新役員名簿

役職名	氏名	職場	専・非	新・再
執行委員長	榊野 康	京橋電車区	専従	再任
副執行委員長	内田 通	鶴橋駅	専従	再任
	寺井 竜司	森ノ宮電車区	専従	再任
	白井 聖二	奈良電車区	専従	再任
書記長	川原 晃一	尼崎列車区	専従	再任
執行委員	岡田 忠士	新大阪駅	非専従	再任
	川勝 透貴	大阪駅	非専従	新任
	松本 憲亮	放出駅	非専従	再任
	猪狩 孔隆	新今宮駅	非専従	再任
	村瀬 徹朗	八尾駅	非専従	再任
	安倍 大貴	大阪車掌区	非専従	再任
	谷口 博一	京橋車掌区	非専従	再任
	細田 春菜	京橋電車区	非専従	再任
	中島 健太	京橋電車区	非専従	再任
	高橋 良樹	大阪新幹線運輸所	非専従	再任
	淵脇 文明	大和路保線区	非専従	再任
	天羽 晃平	近畿総合指令所	非専従	新任
	山下 袴緒	近畿統括本部	非専従	新任
	北原 奨也	運輸車両部	非専従	新任
	近畿統括本部電気部	非専従	新任	
会計監査員	絹田 雅樹	天王寺電車区	非専従	再任
	吉田 太郎	森ノ宮駅	非専従	新任

退任された役員

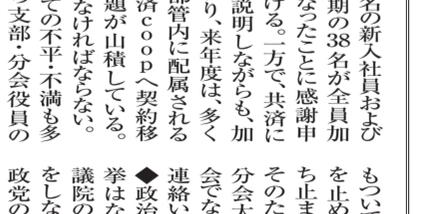
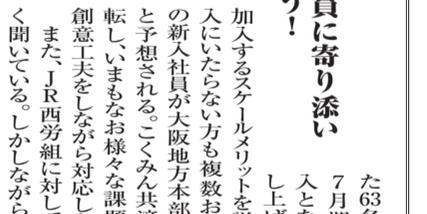
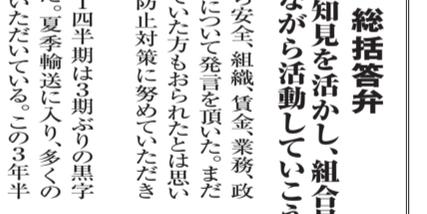
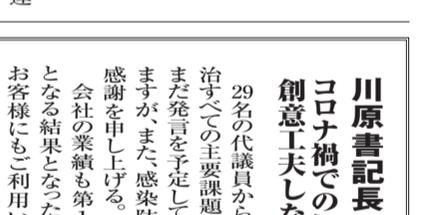
役職名	氏名	職場	専・非
執行委員	柘本 最司	大阪車掌区	非専従
	山下 真実	天王寺保線区	非専従
	稲田 久幸	森ノ宮電車区	非専従
	曾我部 誠	近畿総合指令所	非専従
	永井 潤	大阪保線区	非専従
	伊藤 洋輝	明石支所放出派出所	非専従
	宮崎 未牙	北新地駅	非専従
会計監査員	東浦 将晃	八尾駅 (現・和歌山駅)	非専従

●業務用パソコンのスペックについて
●新しいシステム導入の教育について
●安全について
●一時金について
●第20回統一地方選挙について

伊加井代議員(大阪支部)
●社会人採用組合員への福知山線列車事故の風化防止について
藤井代議員(森ノ宮電車区)
●車内点検について
●危険作業等への検修手当てについて
宮脇代議員(森ノ宮支所)
●障害対応について
●樹木の伐採について
高橋代議員(天王寺支所)
●安全について
●組織について
●大阪デイリーサービス分会について
●社会人採用について

●1月雪害対応に伴う組織の検証について
●要員管理について
●放出席の組合の所属について
●犬伏代議員(大阪信号通信区)
●職場環境改善について
●時金について
●坂井代議員(日根野支所)
●古ア手当てについて
●動物遺骸処理等給付金について
●分会大会について
●野口代議員(天王寺電区)
●レクリエーションによる組合費の運用について
●事務連絡等の受け取りについて
●業務管理の重複の解消について
●新しいシステム導入の教育について
●業務用パソコンのスペックについて
●和田代議員(奈良支部)
●安全について
●一時金について
●第20回統一地方選挙について

伊加井代議員(大阪支部)
●社会人採用組合員への福知山線列車事故の風化防止について
藤井代議員(森ノ宮電車区)
●車内点検について
●危険作業等への検修手当てについて
宮脇代議員(森ノ宮支所)
●障害対応について
●樹木の伐採について
高橋代議員(天王寺支所)
●安全について
●組織について
●大阪デイリーサービス分会について
●社会人採用について



た63名の新人社員および7月期の38名が全員加入となったことに感謝申し上げます。一方で、共済に加入するスケールメリットを説明しながらも、加入にいたらない方も複数おり、来年度は多くの新人社員が大阪地方本部管内に配属されること予想される。こくみん共済coopへ契約移転し、いまもなお様々な課題が山積している。創意工夫をしながら対応しなければならぬ。また、JR西労組に対しての不平等不満も多く聞いている。しかしながら支部・分会役員の方々が、きっちり説明しながら対応していただいている。これからの時代では今まで以上に支部分会役員が大変苦勞を強いられるとは感じているが、まずは困っている組合員が、おせっかいと思わず話を事細かく聞いてあげ、何か組合員ができることがないか、ひとりひとりに寄り添っていただき分会で解決できる部分をまずは見出し、いただきました。

◆業務課題 構造改革に資するご意見もたくさん頂戴した。私自身も中央本部大会で発言しましたが、考えている人の中には、イメージ通りのコミュニケーションをひいて、実際に蓋を開けて過去の事例をみれば様々な初期不良や不具合が発生する。この劇的な環境変化に対応するスキルとマインドを身につけなければならぬ。が、あまりの変化に、組合員でなくとも会社幹部でもついでにいけないのは明白である。会社は歩を止めることはしないが、ゆるめることや一旦立ち止まることもできるのではないかと考えている。そのためには、今日だけでなく、今後支部大会・分会大会と各級機関でご意見も頂戴し、大会でもなくとも、気づきがあれば上部機関などに連絡いただきたい。

◆政治の関心については、この二年間、大きな選挙はなかったが、いつ解散するかわからない衆議院の選挙での推薦議員の当選に向けて準備をしなければならぬ。大阪に目を向ければ、他政の躍進により、厳しい状況にあるのは間違いない。しかし、我々の言葉を代弁してくれる議員を一人でも送り出せるよう協力を要請する。

◆最後に、この大会を機に活動をフルスベックにしていく。コロナ禍での知見を活かしリアルと非対面をうまく活用しながら多くの組合員と意思共有をしていきたいが、やはり対面において、組合員に寄り添うことが大切だと認識できた。3年半だった。すでに多くの分会は歓迎会やレク活動をしている。コロナウイルスだけでなく、さまざまな感染症が蔓延しているが、うまく共存しながら創意工夫し活動を再開していただきたい。皆さんで知恵を出し合いながら、JR西労組運動を共に実践していきましょう！

以上のご挨拶を申し上げます！

川原書記長 総括答弁

コロナ禍での知見を活かし、組合員に寄り添い 創意工夫しながら活動していこう！

29名の代議員から安全組織、賃金、業務、政治すべての主要課題について発言を頂いた。まだまだ発言を予定していた方もおられたとは思いますが、また、感染防止対策に努めていただき感謝を申し上げます。

●安全については事故から18年が経過した。当該地本として、様々な取り組みにより、確実に安全性は高まっている。しかしながら、あややという事象も、鉄道事故も発生しているのは事実であり、反省すべき点は数多くある。引き続き、安全お守り手帳を活用し、ふと思いついたときに開いて振りかえり、確認し、伝える。共有するを意識して職場からの心理的安全性の確立に取り組みをまわりたい。

◆組織では大阪地方本部管内に配属となら

29名の代議員から安全組織、賃金、業務、政治すべての主要課題について発言を頂いた。まだまだ発言を予定していた方もおられたとは思いますが、また、感染防止対策に努めていただき感謝を申し上げます。

●安全については事故から18年が経過した。当該地本として、様々な取り組みにより、確実に安全性は高まっている。しかしながら、あややという事象も、鉄道事故も発生しているのは事実であり、反省すべき点は数多くある。引き続き、安全お守り手帳を活用し、ふと思いついたときに開いて振りかえり、確認し、伝える。共有するを意識して職場からの心理的安全性の確立に取り組みをまわりたい。

◆組織では大阪地方本部管内に配属となら